

## 書 評

## エコ・エネ都市システム

## —21世紀の都市エネルギーと熱利用技術

監 修：棚澤 一郎  
 編 者：西村 隆夫，小俣 富男，萩須 吉洋  
 発 行：(財)省エネルギーセンター  
 定 価：3,800円（本体）  
 評 者：齋藤 雄志（専修大学教授）

本書は、「ニューサンシャイン計画」の中で、93年度に8年計画でスタートした「広域エネルギー利用ネットワークプロジェクト」（エコ・エネ都市プロジェクト）の中間報告として、これまでに得られた成果をとりまとめたものである。

都市エネルギーに関心を持つ研究者・実務家にとっては、本書は、都市エネルギーに関連するテーマをそれぞれの専門家が幅広くかつ手際よくまとめた資料として価値がある。全体はつぎのような構成になっている。

第1編の「都市とエネルギー」では、地域エネルギーシステムの導入が環境面でどのような効果を持つかという視点から、①環境問題のグローバル化と都市におけるエネルギーの有効利用、②人間生活に基づくエネ

ルギー消費分析、③産業排熱、④都市エネルギーインフラ論などがいわばイントロダクションとして述べられている。内容はわかりやすい。

第2編の「エコ・エネ都市システム」では、①排熱回収技術、②排熱輸送技術、③熱利用・ヒートポンプ技術、④環境負荷低減技術等の要素技術に関する各種技術の内容や評価がコンパクトに説明されている。説明は専門家以外にとっても比較的わかりやすい。第2編が本書の中心である。

第3編の「エネルギーシステムの評価と導入効果」では、①都市エネルギー評価手法、②産業排熱の民生利用によるCO<sub>2</sub>削減効果のライフサイクルアセスメント、③エコ・エネ都市プロジェクトによる二酸化炭素排出削減量試算が簡単にまとめられている。

本書の欠点は執筆がほとんど節単位でかかれているので全体のまとめや詳細さに欠けることである。しかし、大勢の専門家が担当する研究を一般向けにまとめた報告書と解釈すればしかたないかもしれない。逆に多様な専門家の知識や見解が述べられているのは長所と考えて良い。

本プロジェクトでは99年度にはプレ最終評価を、終了後には最終評価を実施するとのことである。

協賛行事ごあんない

## 「第7回燃料電池シンポジウム」について

〔主 催〕燃料電池開発情報センター

〔共 催〕(社)電気化学会燃料電池研究会, SOFC研究会

〔協 賛〕通商産業省工業技術院, 通商産業省資源エネルギー庁, 新エネルギー・産業技術総合開発機構 他

〔日 時〕平成11年5月15日(月), 16日(火)

〔連絡先〕燃料電池開発情報センター 総務部 森田 孝

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-1-7, Tel 03-3296-0935, Fax 03-3296-0936